

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2026年3月31日	評価番号	A-131	
評価技術名称					連絡先	https://www.aichi-gensai.jp			
部分開口 構造用合板補強工法					愛知建築地震災害軽減システム研究協議会				
大壁「上下あき」裏棧あり					実験実施機関 :名古屋工業大学				
概要	技術概要 梁及び土台と面材を接合せず、床天井間のみを構造用合板で補強する工法。								
	技術の特徴						コスト		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>天井・床を解体することなく補強が可能</li> <li>一般流通品なので取り扱いが容易</li> </ul>						サンプル構面	14,248 円/kN	
						設計見積り例	—		
適用範囲					写真・図				
構法		木造在来軸組工法							
規模		3階建て以下							
基礎、地盤		特になし							
適用部位		内外壁							
耐震性能					継手受材は正面から見て90mm				
評価仕様: 大壁直貼仕様					上下受材は正面から見て45mm				
壁基準耐力		壁基準剛性							
4.16kN/m		584kN/rad./m							
A-111からの低減係数 $\alpha = 0.8$									
壁基準耐力 $5.2 \times 0.8 = 4.16$									
設計方法									
① 柱接合部による低減 : 取付部分が健全であること									
② 劣化による低減 : 取付部分が健全であること									
施工者指定									
特になし									
主要構成部材の仕様									
仕様	構造用合板		大壁、厚9mm、縦使い、各高さ400mm以上						
			釘 N50、CN50、@150mm以下、間柱打ち、四周打ち、端あき15mm以上20mm以下						
	間柱		三ツ割材以上、釘 N50、CN50 @150mm以下						
	継手受材		奥行30×見付90mm以上、釘 柱に対し2-N75斜め打ち、間柱に対して継手受材負け						
	上下受材		奥行90×見付45mm以上、釘 柱に対し2-N75斜め打ち						
	四方受材		なし						
	下地材		なし						
	アルミアングル		なし						
かさ上げ材		「かさ上げ上あき」適応可							
その他									